

目次

最新情報.....	1
新機能.....	1
V2.10の追加.....	1
V2.00の追加.....	1
V1.11の追加.....	1
メンテナンス項目.....	2
V2.10の修正.....	2
V1.12の修正.....	2
V1.11の修正.....	2
V1.01の修正.....	2
ファームウェアバージョンの確認.....	3
ファームウェアアップデート手順.....	3

最新情報

本機のファームウェアは、常に最新版をお使いいただきますようお願いいたします。最新のファームウェアに関しては、TASCAMのウェブサイト (<http://tascam.jp/>) にてご確認ください。

新機能

V2.10の追加

- 表示言語が日本語に対応しました。
- 表示言語の日本語／英語切り換え機能を追加しました。

メモ

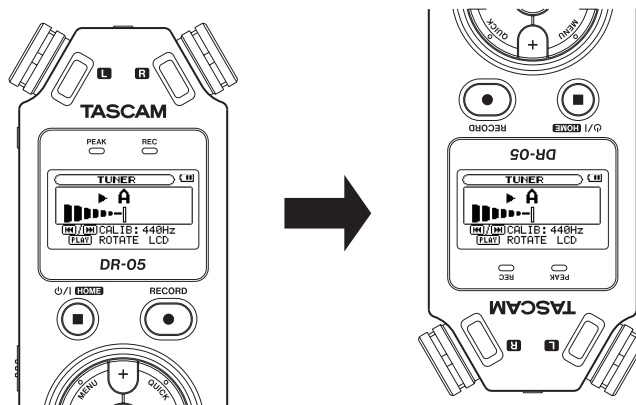
詳しくは、DR-05のリファレンスマニュアルを参照ください。

V2.00の追加

- 再生音に入力信号をミックスして別ファイルとして録音することが可能なオーバーダビング機能が追加されました。
- 音声の入力レベルを感知して自動で録音が始まるオートレック機能が追加されました。
- オートレック機能使用時に自動でマークを付けられるようになりました。
- 外部での動画編集時において便利な、オートトーン挿入機能が追加されました。
- 録音時または再生時に使用可能なリバーブエフェクトが追加されました。

V1.11の追加

- チューナーが使い易くなりました。
“TUNER”画面中にPLAYボタンを押すと、画面の上下が反転します。
内蔵マイクをチューナー使用者に向けたときに表示がわかりやすくなりました。



メンテナンス項目

V2.10の修正

- 動作の安定性が向上しました。

V1.12の修正

- 低温の環境で起動した場合、 Ω /LINE OUT端子から大きいノイズが稀に発生する不具合を修正しました。

V1.11の修正

- 電源のオートオフ設定の項目表示を“**AUTO PWR SAVE**”に修正し、初期値を“**30min**”に修正しました。
- 動作の安定度が向上しました。
- 特定のMP3ファイルを再生したときに、最後まで正常に再生できない不具合を修正しました。

V1.01の修正

- 再生イコライザー（PLAY EQ）の効果を調整しました。
- 動作の安定度が向上しました。
- パソコンで作成したフォルダが存在する状態で、更に新規にフォルダを作成して録音した場合、作成した新規フォルダに録音されない場合がありますので修正しました。

ファームウェアバージョンの確認

ファームウェアアップデート作業前に、お手持ちのDR-05のファームウェアバージョンを確認します。

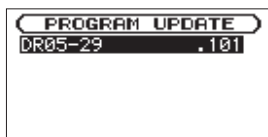
1. 本体の電源を入れてください。
2. MENUボタンを押して、“MENU”画面を表示します。
3. +ボタンまたは-ボタンを使って“OTHERS”メニュー項目を選択（反転表示）し、▶ボタンを押して、“OTHERS”サブメニューを表示します。
4. +ボタンまたは-ボタンを使って“INFORMATION”メニュー項目を選択（反転表示）し、▶ボタンを押します。
“INFORMATION”画面の“FILE (1/3)”ページを表示します。
5. +ボタンまたは-ボタンを使って“SYSTEM (3/3)”ページを表示します。ここで表示される“System Ver.”（ファームウェアバージョン）を確認してください。
ここで表示される“System Ver.”が、これからアップデートしようとしているファームウェアバージョンと同じ、または新しい場合はアップデートの必要はありません。

ファームウェアアップデート手順

注意

ファームウェアアップデートは、電池残量が十分にある状態もしくは、別売の専用ACアダプター（TASCAM PS-P515U）から電源が供給されている状態か、パソコンとのUSBバスパワー接続状態で駆動している状態で行ってください。
電池の残量が少ない状態では、アップデートは行えない仕様となっています。

1. TASCAMのウェブサイト（<http://tascam.jp/>）より最新のファームウェアをダウンロードします。ダウンロードを行ったファイルがZIP形式等の圧縮ファイルの場合は解凍してください。
2. 本体の電源を入れて、付属のUSBケーブルでパソコンに接続します。本機が外部ドライブ（外部記憶装置）としてパソコンに認識されます。
3. ダウンロードしたファームウェア（V1.01の場合はDR05-29.101）をDR-05内にある《UTILITY》フォルダにコピーします。
4. コピーが終わったら、パソコンから本機を正しい手順で切り離れた後、本体の電源を切ります。
5. MARKボタンと◀◀ボタンを同時に押しながら本体の電源を入れます。本体がアップデートモードで起動し、画面にアップデート用ファイルが表示されます。



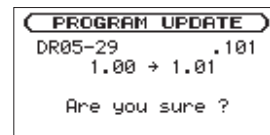
注意

- この画面が表示されない時は、一旦電源を切って、MARKボタンと◀◀ボタンを同時に押しながら再度電源を入れてください。MARKボタンと◀◀ボタンは、この画面が表示されるまでしっかり押し続けてください。
- Macから本機の《UTILITY》フォルダにファームウェアをコピーした場合、ファームウェアのほかにファームウェアの名前の先頭に“_”がついたファイルが表示されることがあります。先頭に“_”のついていないファイルを選択してください。

メモ

- この画面には、本機の《UTILITY》フォルダ内にあるファームウェアアップデート用のファイルがリスト表示されます。上記の3.でコピーされたファームウェアも表示されます。アップデート用のファイルが無い場合は“**No Update File**”と表示されます。
- 画面は一例で、実際の表示とは異なります。

6. ファームウェアを+ボタンまたは-ボタンを使って選択（反転表示）し、▶ボタンを押してください。以下の画面が表示されます。



左側に現在のバージョン、右側にアップデートするバージョンナンバーが表示されます。

メモ

画面は表示例で、実際の表示とは異なります。

7. ▶ボタンを押すとアップデートを開始します。
8. アップデートが終了すると画面下に“**Update Complete**”と表示した後、自動的に電源が切れますので、再度電源を入れてください。
9. 「ファームウェアバージョンの確認」を参照して“**System Ver.**”が最新のファームウェアとなっていることを確認してください。
以上で本機のアップデート作業は終了です。
10. USBでパソコンと接続して本機の《UTILITY》フォルダ内にあるファームウェアアップデート用ファイルを削除してください。